

戦略	施策	行政	観光関連組織・団体	観光事業者	関連事業者・団体	住民・住民団体	主導的に実施	前期	中期	後期	取組内容と進捗
湯沢町も広域も！オールシーズン楽しめる仕組みづくり											
1-1	グリーンシーズン、全天候型のプログラム造成		○	◎	○	○					
1-2	ガイド組織の構築		◎	○			まちづくり機構				山歩き・町歩きの取組を通じて、ネイチャーガイドやアクティビティインストラクター組織の設立案の取りまとめを進め、ガイド組織の構築に向けた道筋をつけていく。
1-3	町内の各エリアの特徴を活かした多様なコンテンツづくり		◎	○		○	まちづくり機構				エリア協議会単位での支部化を進め、地域ごとの特徴を活かした、新しい観光ニーズに応えられる体制づくりを進めます。「中里秋祭り」「飯士登山祭」「苗場ボードウォークキャンプ」などの地域で行われる事業において連携するとともに、引き続き感染拡大防止対策に取り組む。
1-4	温泉魅力の掘り起こしと温泉資源のさらなる活用		○	◎	○						
1-5	湯沢町ならではの食・特産品の魅力づくり		◎	○	○	○	まちづくり機構				令和3年度にはじまった「ゆざわマルシェ」を町内イベントと連携させながら実施している。湯沢産野菜や加工品、クラフト作品などの紹介を引き続き行っていきます。令和4年度は5月15日開催の「ゆざわグリーンフェス」において実施し、次回は7月17日に行う。
1-6	広域で周遊できる仕組みやコンテンツづくり		◎	○	○	○	まちづくり機構				広域連携については雪国観光圏と連携しながら取組を進めることとしています。雪国観光圏とはそれぞれの役割を明確にしながら、今まで以上に緊密なやり取りを進めます。また、今年度は「大地の芸術祭」が開催されており、有力なコンテンツとして周遊観光に繋がっている。
世界を見据えた国際競争力の高いスノーリゾートづくり											
2-1	初めての人や子供、高齢者にやさしい安心安全なスノーリゾートづくり		◎	○		○	まちづくり機構				令和2年度より観光庁「国際競争力の高いスノーリゾート形成促進事業」にエントリーし、安心・安全に向けた取組を進めており、令和3年度には、まちづくり機構HP内にエントリー層向けに情報を特化したページを設けた。今年度は新潟県及びスキー場と連携しながら、インバウンドを含めたエントリー層向けに気軽に楽しめるコンテンツ造成などを進めている。
2-2	回遊性の向上（ゲートシステムの導入と共通リフト券の導入等）		◎	○			まちづくり機構				町内共通リフト券については、湯沢町スキー場振興協議会の協力のもと議論を進めています。ユーザーにとってより魅力の高い商品となるよう、新潟県、湯沢町他関係機関とともにブラッシュアップを図ります。同時に、ウインター季における二次交通整備（情報発信含め）について協議を進めることとしています。
2-3	スキーをしない人も楽しめるコンテンツ・空間づくり		○	◎							
2-4	上級者が安全に楽しめる仕組みづくり	◎	○	○	○		観光商工課				神楽ヶ峰山域入山者は登山計画書を提出 神楽ヶ峰山域冬山登山遭難対策会議を毎年12月に開催

戦略	施策	行政	観光関連組織・団体	観光事業者	関連事業者・団体	住民・住民団体	主導的に実施	前期	中期	後期	取組内容と進捗
居心地の良い景観・街並みの整備											
3-1	観光客・住民の導線をふまえたランドデザイン（戦略4の内容も含む）の検討	◎	○	○	○	○	観光商工課、建設課				地域公共交通活性化協議会 湯沢町環境色彩計画 「豊かな自然と調和した美しい湯沢町をつくる条例」
3-2	施設の適切な維持管理と開発コントロール	◎	○	○	○	○	建設課、企画政策課、観光商工課				湯沢町空き家等の適正管理に関する条例、空き家バンク
3-3	歩きたくなる街並みと滞在したくなる空間の整備	◎	○	○	○	○	建設課、観光商工課				商店街エリア活性化事業
3-4	湯沢町ならではの風景を楽しめる視点場の整備	◎	○	○		○	観光商工課、建設課				魚野川右岸遊歩道整備
3-5	戦略的な植物の植樹と整備	◎	○	○	○	○	全体				
利用者目線での受け入れ環境整備											
4-1	シーズンごとの利便性を考慮した、観光客と住民が利用できる二次交通の整備	◎	○	○			観光商工課、企画政策課				地域公共交通活性化協議会
4-2	インフォメーション機能の充実		◎	○			まちづくり機構				越後湯沢駅構内の広域観光情報センターはこれまでのえちご魚沼観光開発協議会からの業務受託に加え、新潟県からの業務受託として、令和4年度から全県の情報発信を行っています。また、インバウンドの回復を見込み、掲示物等の表記について多言語表記に戻ってきています。
4-3	玄関口となる越後湯沢駅の耐震化と機能向上		○	◎							
4-4	Wi-Fi整備、キャッシュレス決済等の推進	◎	○	○	○		観光商工課				令和2年度a u P A Yキャンペーン
4-5	観光案内サイン、登山道、駐車場、トイレ等の適切な整備・管理	◎					観光商工課、建設課				万年橋駐車場トイレ新築
4-6	多様な利用者を想定した受け入れ環境の整備	◎	○	○		○	観光商工課				越後湯沢駅東口EV設置
町内外が一体となっておこなう自然環境の保全											
5-1	環境負荷の少ない観光地づくり	○	◎	○	○	○	まちづくり機構				プラスチック新法等の情報入手に務めています。また、パンフレットなどの紙媒体の制作物については、デジタル化を進めるなど、必要以上の資源を活用しないよう取組をはじめています。
5-2	地域内外が一体となって取り組める自然環境保全の仕組みづくり	○	◎	○	○	○	まちづくり機構				「湯沢町自然環境保全基金」や「フジロックの森プロジェクト」などそれぞれのエリアの強みを活かしながら、全町的な取組として進めている。ガイド組織の設立に向けた取組ともリンクを強めていきたい。

戦略	施策	行政	観光関連組織・団体	観光事業者	関連事業者・団体	住民・住民団体	主導的に実施	前期	中期	後期	取組内容と進捗
観光産業の構造改革・生産性の向上											
6-1	宿泊産業活性化		○	◎							
6-2	DXなどを意識した観光関連産業の生産性向上		○	◎							
6-3	農業、製造業、商業等を含めた湯沢町の観光に関わる全ての人の連携体制の強化		◎	○	○	○	まちづくり機構				機構理事会を宿泊、索道、商工、農業、交通など多業種の方に入ってもらって構成としている。また、町内の事業者情報の集約を進め、多様な業種が網羅された町内事業所リストの作成を進める。
6-4	人材確保・人材育成の仕組みづくり		◎	○		○	まちづくり機構				7月1日に開設された「ゆざわマッチボックス」（湯沢町公式求人マッチングサイト）の活用について行政と連携しながら町内事業所に広く告知する（現在、湯沢町観光まちづくり機構HPにおいてリンクバナーを貼っている）。
”戦略的な”情報発信と内外プロモーションの実施											
7-1	利用者目線の情報発信と費用対効果を意識したプロモーションの戦略的实施（外部機関や県等との連携等）		◎	○			まちづくり機構				プロモーション手法については、令和3年度から抜本的な見直しを進めている。
7-2	地域内へのわかりやすい情報共有（インナープロモーション）		◎	○		○	まちづくり機構				地域住民の皆様向けの情報発信として広報ゆざわに「まちづくり情報室」を定期的に掲載している。会員向けの情報発信としてはSlackの運用を進めている。
効果的な観光振興を進める上での基盤整備											
8-1	観光関連組織の再編と事務局機能の強化		◎								
8-2	観光統計の整備とマーケティングの実施	◎	○	○			観光商工課				
8-3	新たな観光財源導入の検討	◎	○	○			観光商工課、税務課				行政内部で検討準備中
8-4	自然災害、感染症等による多様なリスクへの対応		◎	○	○						